

《担当者名》白坂知彦 [shirasaka.tgmail.com] (非)
八木こずえ [co-yagi0913@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

精神科治療の基礎知識および最新の動向を学習し、適切な治療経過を支援するための専門的な臨床判断能力を修得する。

【学修目標】

1. 対象の病態や状況に合わせた治療技法の特徴と適応、臨床判断の視点について説明できる。
2. 治療技法が対象に与える影響を多様な視点からアセスメントし、必要な支援を考察できる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1.2	精神医学における治療方法の選択と臨床判断	・主な精神疾患における診断方法と治療技法の全体像を理解する。 ・主な病態や疾患に選択される治療方法や検査、医学的臨床判断の内容やプロセスについて学ぶ	白坂 八木
3.4	向精神病薬を用いた薬物療法の原理と実際	向精神薬の種類や特徴、主な薬理作用、適切な使い方について説明できる ・薬物療法の基本的知識 ・抗精神病薬と抗パーキンソン病薬	白坂
5.6	向精神病薬を用いた薬物療法の原理と実際	・抗うつ剤、気分安定薬 ・抗不安薬・睡眠薬・抗酒剤・抗てんかん薬	白坂
7.8	精神療法の適応と理解 1) 精神疾患の病態の時代的变化 2) 支持的精神療法・洞察療法	・病態の時代的变化を捉えた上で精神療法の基本的な知識、姿勢について学ぶ	白坂
9.10	認知行動療法 1) 理論的基盤と構造認知行動療法 2) 対象別の実践	・認知行動療法における査定、認知再構成法、行動活性化技法、マインドフルネスなど、治療の基礎的知識とプロセスを学ぶ。 ・不安障害・抑うつ障害・うつ病、パーソナリティ障害等、対象別の認知行動療法の実際と留意点を学ぶ	白坂
11.12	集団精神療法 1) 理論的基盤と構造 2) 対象別の実践	・集団力動の諸相や治療的因子等の基礎知識と実践上での配慮や技法を学ぶ ・アルコール依存症や摂食障害などの集団療法の実際と留意点を学ぶ	白坂
13.14	精神科治療と多職種連携 1) 精神科治療チームの意義、職種間の問題、現状の課題	・治療現場で遭遇しやすい職種間の葛藤や認識のギャップから、治療チームの連携の意義や課題を整理する。	白坂
15	2) 精神科治療チームの特性や連携を促進する方法や課題についての文献学習を行い、事例を用いて学生がプレゼンテーションを行う。	・院生によるプレゼンテーションと討議を通して、チーム連携の課題への考察を深め、治療チームの成長に向けての役割を明確化する。	白坂 八木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（50％）、討議への参加（50％）で評価する。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

カプラン精神科薬物ハンドブック：エビデンスに基づく向精神薬療法.第4版.東京：メディカル・サイエンス・インターナショナル.2006.

大熊輝雄：現代臨床精神医学.金原出版株式会社.2013.

神田橋條治：精神療法面接のコツ.岩崎学術出版社.2002.

現代の病態に対する私の精神療法.精神療法.金剛出版.2015.

野中猛：多職種連携の技術.中央法規.2014.

その他、随時提示する。

【学修の準備】

講義前に参考文献を読み、プレゼンテーションの課題を準備すること